

平成19年9月11日

江別市教育委員会
教育長 高橋 侃 様

子どもの健康と環境を守る会
代表 黒嶋 恵
〒069-0842 江別市大麻沢町 23-4
TEL/FAX 011-387-1556
info@kodomonono.org

学校給食食器の更新・選定・採用に関する要望

江別市教育委員会におかれましては、日頃より、児童生徒の立場を第一に考えた教育行政に対し、また会の活動に御理解、御協力をいただき感謝しています。

今年度二学期より小皿が天然石食器からP E N樹脂製に、お箸が竹箸からS P S樹脂製箸に変更になりました。しかし『給食だより』（別紙）には、「おしらせ 二学期より給食用の小皿とはしが新しくなります。」とあるだけで材質の変更を保護者・教職員は全くといっていいほど知ることが出来ない状態です。読みようによっては、天然石食器の小皿と竹箸が同じ素材で新しくなるとさえ読み取れてしまいます。

平成11年11月、給食センターが改築される際に保護者有志で提出した『給食センター改築に伴う学校給食に関する質問事項』（別紙）中に、プラスチック食器への不安・使って欲しくない旨を、天然素材のものを採用して欲しい旨を載せました。その私たちの思いに答えて下さり、平成13年4月、ポリプロピレン、先割れスプーンは廃止され、強化磁器、天然石食器、スプーンとフォークの使用が開始されました。とても良かったと嬉しく思ったのを記憶しています。この時に発行された『給食センターだより』（平成13年2月27日）（別紙）には、材質が変更になったこと、その材質の扱いについての注意点などが詳しく載っています。しかし、今回は前述した通り、材質の変更について何もありません。

アレルギー・化学物質過敏症の児童生徒への対応も各学校で対応が異なり、個別に材質の変更を知らせた学校、全く知らせてない学校があります。食材だけでなく食器や包装材に反応する児童生徒もいることから材質の変更は詳細に示されるべきものだと考えます。

今回採用になったP E N樹脂とS P S樹脂について調べてみました。安全だとする情報は、メーカーの安全情報のみでした。問い合わせをしました国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部第三室によりますとP E N樹脂という材質は、厚生労働省または食品安全委員会の安全性評価を受けておらず、厚生労働省の食品衛生法の合成樹脂製の器具又は容器包装の個別規格を取得していません。またS P S樹脂については情報を持っていないということでした。S P S樹脂は、自動車・電気部品の使用実績は目にしましたが食品関係は目にすることはできませんでした。現段階で両樹脂は、安全性を保障できているとはいえません。

今回変更の理由として上げている重さについてですが、重さ対応で給食食器カゴの容量の変更や各学校のスロープの傾斜角度を緩やかにする工事など対応は出来ていたはずですが。また他市町村で対応できていることが江別市だけ対応できないということはないと思います。

もう一つの理由として道内で強化磁器を購入できないとしたことに付きましては、今回採用の二社にそれぞれ給食用の強化磁器の扱いがありました。強化磁器を採用できなかった理由には当たらないと思います。

1日の食の3分の1に当たる学校給食は、安全な食材と食器でおいしく食べてもらいたいものです。その保護者の願いは時代が変わっても不変のものだと思います。プラスチック製品に対してNOといった平成11年の保護者の思いと合わせて右記の要望を致します。

記

- 1.児童生徒の事を最優先に考えて下さい。
- 2.食器も食の文化であることを食育の中で育て下さい。
- 3.給食食器の材質は、強化磁器や天然素材のものを使用して下さい。
- 4.給食食器の材質を変更する際は、計画段階の早い時期に材質の変更を市民向けに公示し、検討委員会を立ち上げ、委員には有識者、保護者の代表を任命し、十分に安全性を検討して下さい。

以上